

第33回化石研究会 総会・学術大会 の御案内

第33回化石研究会総会・学術大会（通算143回）を、下記日程で開催いたします。

今回の会場は、世界文化遺産にも指定された三保の松原を擁する静岡県の清水にある東海大学海洋科学博物館です。清水と言えば、深海生物でも有名な駿河湾のお膝元であることから、今回は「深海環境と生物」と題したミニシンポジウムを開催いたします。

- 日 時：2015年6月6日（土）・7日（日）
 - 会 場：東海大学海洋科学博物館（静岡県静岡市清水区三保 2389）
[世 話 人：柴 正博 会員（東海大学自然史博物館）]
- 参加費：化石研究会会員は無料
※ 非会員の方は博物館入館料が必要です（一般：1500円、学生：750円）
- 概 容（予定）：ミニシンポジウム（一般公開）

テ ー マ：「深海環境と生物」

駿河湾と言えば、海底谷の存在により湾の奥深くまで深海環境が存在しており、そこには様々な深海生物が暮らしていて、最近ではたいへん話題となっています。そこで今回は、駿河湾、そして深海生物やそれらの化石に関連した四題について、講演していただきます。

日 時：6月6日（土） 13:00～17:00（予定）

講 演：講演1「駿河湾はどうやってできたか？」

（仮題） 講師 柴 正博さん

講演2「謎のサメ、メガマウスをさぐる」

講師 田中 彰さん

講演3「師崎層群の硬骨魚類化石相—深海魚を中心に—」

講師 大江文雄さん

講演4「分子系統で探るテヅルモヅル類の進化」

講師 岡西政典さん

■ 総会・学術大会時におこなわれる、その他のイベント

一般講演（口頭発表／一般公開）・・・事前申込みが必要（本ページ下半部参照）

日 時：6月7日（日）午前・午後（予定）

一般講演（ポスター発表／一般公開）・・・事前申込みが必要（本ページ下半部参照）

日 時：6月7日（日）午後

自然史博物館・海洋科学博物館見学

日 時：6月7日（日）午後

総会議事（会員のみ）

日 時：6月7日（日）10:00～10:40

会 場：東海大学海洋科学博物館 講堂

懇親会・・・事前申込みが必要（3ページ参照）

日 時：6月6日（土）夜

会 場：東海大学海洋科学博物館 大水槽前

一般講演（口頭・ポスター）の募集

第33回総会・学術大会の二日目（6/7）に実施する一般講演（口頭・ポスター）を募集いたします。以下の要領でお申し込みください。また、その他に発表等の展示物など希望がある方は、事務局までご相談ください。講演予定者で、会からの派遣申請等が必要な場合は、申込の際にその旨を連絡してください。

<一般講演（口頭・ポスター）をご希望の方>

講演申込（要旨送付）期限 5月16日（土）

方 法：電子メールに、講演者名・所属、連絡先、演題名、口頭・ポスターの区分を明記のうえ、講演要旨を添付してメールをお送りください。口頭発表で Mac を使用する際にはその旨も明記してください
メールでの申し込みができない場合は、FAX もしくは郵便で、上記内容を事務局までご連絡ください。

講演要旨の書式：一般講演の要旨はA4サイズ（縦）1枚に演題14ポイント、発表者名11ポイント、本文10.5ポイントとし、本文1300文字程度としてください。

一般講演の機材等について：

- ・一般講演（口頭）は、講演15分、質問5分を予定しています。ただし申込人数により若干前後する可能性があります。
- ・一般講演（口頭）には、Windows パワーポイント搭載パソコンを用意します。Mac ユーザーの方はご自身のマシンをお持ちいただくことをお勧めします。
- ・一般講演（ポスター）には、掲示用ボード、画びょうを準備する予定です。

一般講演の申込（講演要旨送付）先

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付
化石研究会事務局 宛
メールアドレス：BXJ04105@nifty.ne.jp
FAX：0274-60-1250（館）

※ 一般講演の演題などの詳細については、後日HPならびにニュース次号でご案内いたします。

懇親会(6/6)、宿泊[三保研修館](6/6)、
昼食(6/6・7)の申込みについて

いずれも事前申込みが必要です（締切5/22）!!

懇親会[海洋科学博物館・大水槽前]（6/6）・・・参加費 ¥4150（一名）

昼食（6/6、7）・・・お弁当代 ¥1000（一食分／お弁当＋お茶）

宿泊[東海大学三保研修館（最寄り）]（6/6）

・・・宿泊料金 ¥4500（一泊一名／宿泊＋朝食）

電子メール、もしくはFAXで事務局宛にお申し込みください。

懇親会・昼食・宿泊の申込先

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付 化石研究会事務局 宛
メールアドレス：BXJ04105@nifty.ne.jp
FAX：0274-60-1250（館）

締切（5/22）厳守でお願いいたします。

東海大学海洋科学博物館へのアクセス



自家用車

●東名高速道路 清水インターから、湾岸道路を經由し、三保街道へ。または静岡インターから久能街道（いちご街道）經由。どちらでも所要時間は約 30 分です。博物館付近には有料駐車場があります。

公共交通

●JR東海道線・清水駅で下車し、駅前のバス停から「東海大学三保水族館」行きのバスに乗りしてください。所要時間約 30 分の時点で、下車すると、目の前に小さく見えてきます。
徒歩約 1 分です。



宿泊施設

●3 ページでご紹介した東海大学三保学習館のほかには、会場行き（「東海大学三保水族館」）公共バスが出る JR 清水駅周辺、あるいは清水駅まで鉄道で約 15 分の JR 静岡駅周辺にもビジネスホテルがあります。

ただし、土・日はバスの本数が少ないので、事前に発車時刻をご確認ください。

運営委員会の開催について

総会・学術大会にあわせ、下記日程で運営委員会を開催します。

役員は出席をお願いいたします。

日 時：6月6日（土）午前11時～午後0時30分

会 場：東海大学海洋科学博物館 会議室

>>> 第142回例会・巡検報告 <<<

「カイギュウ発掘地を訪れる巡検」に参加して

日 程：平成26年11月17日(月)

場 所：福島県喜多方市高郷町、福島県西会津町

年代・層準：約1000万年前[後期中新世前期] 塩坪層

約900～450万年前[後期中新世中期-前期鮮新世前期] 藤峠層

参加者 2名

① 荻野石（グリーンタフ）の露頭見学：阿賀川峰橋付近に広がるグリーンタフ見学。荻野駅（磐越西線）付近の民家、工場の塀や石垣にそしてモニュメントに荻野石（グリーンタフ）が沢山利用されている。駅のホームにカイギュウがいた、いえイラストで。



荻野駅のホーム。化石の里とあります。



荻野石（グリーンタフ）のモニュメント。



荻野石の露頭を削ってできた道。

② 塩坪層上部（塊状中粒砂岩）：塩坪層は中新世後期の地層で、漆窪層を整合、一部不整合に覆う。塩坪橋の下流両岸には塩坪層の見事な露頭が広がっている。この橋付近の阿賀川河床はカイギュウやクジラの化石の発掘地であり、一部に密集した生痕化石（サンドパイプ）も見られる。またクジラの顎の骨の一部分がこの川床に残されていて直接観察することもできる。カイギュウは海藻食のため10m くらいの浅海を移動していたらしい。生痕化石の密集とカイギュウとが共存する環境も興味深い。またところどころ川床の岩の窪みに珪砂が集まっていて、それが朝日を受けてきらきら輝いていた。



サンドパイプ密集層の転石。



礫岩層。手前にクジラ化石あり。



耶麻化石動物群の貝化石。

③ 塩坪層下部（砂岩、泥岩、凝灰岩の互層）：最下部の砂岩泥岩互層の露頭が50m以上にわたって明瞭に見られる。貝化石「耶麻（ヤマ）動物化石群」の産状が観察できる。クジラの骨の組織が明瞭に見える化石が礫層の中に、砂岩層には沢山の貝化石が見られる。軽沢峠に向かう途中はりんご畑が広がっている。りんごの無人販売所にカラスが1羽、店員のように座っていた？！



ツキガイモドキ。



塩坪層最下部。泥岩の割合が多い。



阿賀川。

④ 塩坪層～藤峠層の連続露頭（軽沢峠）：藤峠層は砂岩・礫岩・泥岩の互層で塩坪層を整合に覆う。陸生の植物や淡水性の水草・貝類・ケイソウなどの化石を含む。藤峠層の火山灰層に火山豆石（ピソライト）が含まれている。垂炭層（幅約50cm、高さ約3m）も見ることができた。漣痕（カレントリップル）の急傾斜（約70度）の崖が鮮明に見える。このカレントリップルは浅海域、ここにカイギュウが生息していたのでしょうか。塩坪層は海の時代、藤峠層は陸上堆積物、この付近で塩坪層と藤峠層のバウンダリが見つければいいのですが。



藤峠層の葉化石。



アゲマキガイ類化石。



シジミ類化石。



漣痕。県の天然記念物。

(古久保 斗志)

塩坪層の上部より、アイツタカサトカイギュウ(*Dusisiren takasatensis*)が発見されている。長岡のカイギュウ：ミヨウシーは約250～200万年前の白岩層から産出し *Hydrodamalis* 属で歯がないカイギュウとされているが、アイツタカサトカイギュウはより古い時代の *Dusisiren* 属で歯のあるカイギュウとされている。今回の例会の講演内容も踏まえ、カイギュウの大まかな形態進化や古環境の変化を追うことができる巡検だった。つかの間の晴れの日でした。新そばも食べ、晩秋を満喫した巡検でした。

(名取 和香子)

>>> 最近出版された書籍の紹介 <<<

1) 恐竜学入門 ーかたち・生態・絶滅ー

Fastovsky・Weishampel [著] 真鍋 真 [監訳] 藤原慎一・松本涼子 [訳]

発行 東京化学同人 / 2015年 / 価格 ¥6800+税

※ オリジナルはケンブリッジ大学出版からされている *Dinosaurs A Concise Natural History* の Second edition です。この二人の著書が翻訳されたのは3冊目です。持ち運ぶには少し不便なサイズですが、挿絵も見やすく、価格もリーズナブルです。

2) 『系統樹をさかのぼって見えてくる進化の歴史』

長谷川政美 [著]

発行 ペレ出版 / 2014年 / 価格¥2600+税

※ 一般向け書籍とはいえ、その中身は日本における分子系統学の第一人者が著した、生物分類・系統に関する最新の知見がまとまった書籍です。登場する生物など約600点のカラー写真が掲載されているほか、各章のトビラのイラスト、巻末の著者近影、そして系統樹マングラのイラストは、イラストレーターの小田隆氏がこの書籍のために書きおこしたものです。

3) 『Vertebrate Palaeontology Fourth edition』

Michael J. Benton [著]

発行 Wiley Blackwell / 2014年 / 価格¥7666 (ペーパーバック・AMAZON 価格)

※ ブリストル大学のベントン教授による古脊椎動物学の教科書ですが、版を重ねるごとに前の版以降の新しい研究成果が多数引用されています。また、今回はわずかとはいえ、カラー一冊版も採用されています。表紙はベントン研究室も研究にタッチしている中国・貴州省の三畳紀の海棲脊椎動物です。

4) 『見てみよう、やってみよう、さわってみよう

体験型読み聞かせブック 理科好きな子に育つふしぎのお話365』

自然史学会連合 [監修] 子供の科学 [特別編集]

発行 誠文堂新光社 / 2015年 / 価格¥2300+税

5) 『NARIWA FLORA [ナリワフローラ] 成羽層群産タイプ標本』

高梁市成羽美術館 [企画・編集]

発行 高梁市成羽美術館 / 2014年 / 価格¥1800+税+送料

※ ナリワフローラ (成羽植物群) は、ユーラシア東部の後期三畳紀を代表する植物群として知られています。本書は、高梁市成羽美術館の新築開館20周年を記念して開催された「世界に誇る成羽の化石」展の際に製作された出版物です。同館の調査で確認された成羽植物群の基準標本の写真を中心に、それらの化石からわかることなどについてまとめられています。同館 (ショップ) から通信販売で購入できます。

>>>第 144 回化石研究会例会のお知らせ<<<

11月14日(土)～15日(日)

「福島県喜多方市」の予定です。

詳細については決まり次第、お知らせいたします。
日程の確保をお願いいたします。

>>> 事務局だより <<<

- 発行がたいへん遅くなってしまいました、会員の皆様に心からお詫び申し上げます。
- 古久保斗志、名取和香子両会員には昨秋長岡で開催された例会後に実施した巡検報告を執筆していただきました。ありがとうございました。
- 会誌やニュースの送付先(ご自宅、勤務先)が変更となった際には、事務局までご一報ください。
- 「2015年度会費」の納入をお願いします。年会費は前納となっております。
年会費 4000円(学生2000円) 郵便振替00100-7-633288 化石研究会

※ 一昨年の事務局移転に伴い、郵便振替の番号(↑)も新しくなっております。ご注意ください。
※ 納入状況は、会誌発送封筒の宛名ラベルでご確認ください。2014年以前の会費が未納となっている方は、併せて納入してください。

3年間、会費未納の会員は除籍となります。

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1 群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/tepkun/>

郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288

名 称 化石研究会(カセキケンキュウカイ)

年会費 一般4000円(学生2000円)

この化石研ニュースは、上記の化石研究会のホームページでも見るすることができます。現在、紙でニュースが郵送されている方の中で、紙で送らなくても良い方は是非ご連絡ください。費用と労力の削減に御協力ください。